



南アメリカの先住民に伝わるハチドリの物語

あるとき森が燃えていました もりの生き物たちは我先にと逃げていきました

でもクリキンディという名のハチドリだけはいつたりきたり
口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは火の上に落としていきます

動物たちがそれを見て「そんな事をしていったい何になるんだ」といって笑います

クリキンディはこう答えました「私は私にできることをしているだけ」

地球を冷やすのは、私たち

大きな山火事の上にハチドリがしずくをポトリと落とす。「焼け石に水」という言葉があるように、熱くなっている地球を冷やすための私たちひとりひとりの行為は、なんの効果もない、ムダなものだと思われがちです。しかし考えてみてください。地球温暖化もやはり、私たちひとりひとりの行動が積み重なって起きている現象です。CO2はどこから出ているのでしょうか。産業が約40%、運輸が20%、家庭が13%といわれますが、その産業のつくり出すモノを消費し、運輸のサービスを直接的に、間接的に利用しているのはやはり、私たち自身なのです。逆にいえば、私たちが暮らしの中に起こす変化は、家庭を超えて、社会全体のあり方を変えることにつながっていくのです。たとえそれがどんなにささやかに見えても、たしかに地球を冷やすことにつながっているのです。さあ、ポトリ、ポトリ、と私たちのしずくを落としはじめましょう。

ハチドリ基金とは？

ハチドリ計画の活動資金の為に使われる寄付金です。ハチドリ計画はみんなの力でこの熱くなった地球を、冷やす事を目的としています。

Littlegarden ではハチドリ計画の冊子を貸し出ししています。ぜひ一度ご覧になって下さい。

地球の冷やし方

みんなの力でこの熱くなった地球を、冷やすことができます。その方法を紹介します。

フードマイレージ

食べもので地球温暖化防止ができるって知っていましたか？
小さな口ばしに水を含み、火を消そうとしたクリキンディ。今私たちは地球温暖化という危機に面しています。

地球を冷やすために、一体私たちはどんなことができるのでしょうか。実は簡単なことでした。

その一つは、どんな食べものを私たちが選ぶかということです。フードマイレージという考え方があります。フードマイレージとは、食べ物がとれたところから食べるところまで運ばれる距離のこと。輸送で排出されるCO2量が距離から計算することができます。地元の農家から作物を買うことでこのフードマイレージは少なくすることができるのです。

私にできること、食べものを地元の農家で買うこと・国産のものを選ぶこと。

アスパラガス（オーストラリア産）	4.1 ポトリ
イチゴ5個（アメリカ産）	6.2 ポトリ
たまねぎ一個（アメリカ産）	1.4 ポトリ
ダイコン 一本（中国産）	1.8 ポトリ
レタス 一個（アメリカ産）	3.6 ポトリ
じゃがいも一個（中国産）	0.7 ポトリ
トマト一個（韓国産）	0.1 ポトリ
鶏モモ肉（タイ産）	0.3 ポトリ
（大地を守る会調査）	

生活でできること

シャワーを浴びる時間を一分短縮すると 0.6 ポトリ
冷蔵庫のモノの詰め込みすぎをやめると1日 0.7 ポトリ
電気ジャーの保温をやめると一日 0.8 ポトリ
など、まだまだ沢山できる事はあります